

令和6年度 大湊高等学校 学校経営方針

校 訓

「真理と正義」 「自主と責任」 「敬愛と協同」

目指す学校像（スクール・ミッション）

総合学科の特長を生かし、生徒一人一人の興味・関心や進路志望に応じたきめ細かな教育活動及び自己の在り方・生き方を考察させるキャリア教育を通して、個性を生かしながら社会貢献に取り組む態度を養うとともに、外部人材と連携した多様な学びや部活動を推進し、主体性と他者を尊重する心を育み、情操豊かで社会の発展を担う人財を育成します。

生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

- 世界を広げるための確かな学力【学習力】
- 自分らしさを愛する気持ち【自己肯定感】
- 苦手なことにも挑める強さ【挑戦力】
- 多様な他者と協力する姿勢【協調性】 を育成する

具体的な取組

1) 魅力的な授業の実施 【授業で生徒を育てる】

- ・グランドルールの徹底（年度当初に学校全体で生徒に伝える）
- ・「評価」の適正化（客観性を持たせる・評価規準の周知・パフォーマンステストの実施）
- ・教材研究と教授方法の研究（ICT のプラス面マイナス面を見極める・教材の共有、利用）

2) 総合学科としての豊かな学びの構築 【日本一の総合学科を目指して】

- ・系列を超えた自由選択群の設定（自由な発想で挑戦を）
- ・生徒の系列、科目選択への支援（丁寧な説明、面談、決定のプロセスを踏む）
- ・高い専門性を有する講師の積極的活用（特別非常勤講師ほか）

3) 授業以外の学びの充実 【主体的な学びのチャンス】

- ・探究活動の充実（全ての教員が当事者意識を持つ）
- ・外部資源の活用（地域を巻き込む）
- ・部活動、委員会活動の活性化（転換期の部活動の在り方を探る）
- ・活動の主体を生徒に（教員がやりすぎない）
- ・レジリエンス（打たれ強さ）の育成（失敗のままで終わらせない）

4) 多様な生徒への支援 【多様性を力に】

- ・合理的配慮の推進
- ・成績上位者をさらに伸ばす取組
- ・SSW、SC 等の活用 保護者、中学校との連携
- ・生徒同士の助け合う力、学び合う力の支援

5) コミュニケーション能力の育成 【言語能力・非言語能力の両方を育てる】

- ・「読む」力、特に「書く」力の育成
- ・適切な音量で、単語ではなく文章で「話す」指導
- ・相手の話をきちんと「聞く」態度の育成
- ・対人スキル、問題解決法など非言語領域を含めた総合的コミュニケーションスキルの育成